

河合小だより NO.3 2022.6.13



福寿草

<学校の教育目標>

自分から動き 仲間とともに 高め合う子

～ 河合っ子 から 河合びと ～

自分から

レベル
アップ

仲間とともに

ふるさと大運動会(『ふるさと河合にありがとう～全力・協力・笑顔～』) 校長 渡邊 稔

3年ぶりに、楽団ニューコメッツの生演奏が流れ出し、ふるさと大運動会は始まりました。
「鉄腕アトム」のリズムに合わせて、子どもたちは、入場してきたのです。

振り返ってみると、今年も、ふるさと河合町の皆様に支えられた運動会になりました。

- ・地域学校協働本部主催、地域の方々のグラウンドの草取り
- ・鯉のぼりの寄付 ・河合っ子応援部会、PTAによる鯉のぼり設置や会場の準備、片付け
- ・地域の方による盆踊り指導 ・楽団ニューコメッツによる生演奏
- ・ふるさと種目「借り物源氏競争」 ※ご協力及びご支援、ありがとうございました。

今年のふるさと種目は、中学生が企画しました。

自分たちが企画・運営したことにより、準備から片付けまで黙々と働いていました。

つい最近まで小学生だった生徒が、大人のように気遣って動く姿には成長を感じると共に、小学生にとって良い手本となっていました。そして、中学生を含め地域の方々の姿は、きっと小学生の「ふるさと」の記憶の一つとして脳裏に残って、引き継がれていくことと思いました。

小学生はというと、競技・演技・係会活動において、全力・協力の姿がありました。

まさに、スローガン『ふるさと河合にありがとう～全力・協力・笑顔～』の姿でした。

応援については、子どもたちと相談し、今年から赤白で競わない形にしました。

赤白一緒になって内容を考え、エールを送ることを目的に、練習を進めてきました。

当日は、校歌、三三七拍子、替え歌「RPG」、ウェーブ、エール交換と続けました。

替え歌では、一緒に「♪空は青くすみわたり・・・」と振り付け入りで歌い出し

今までに無かった赤白そろったウェーブを作り出し、

「フレイフレイ赤団」「フレイフレイ白団」 とお互いがエール交換をした後

全員で「フレイフレイ河合! 頑張れ 頑張れ 河合!」と言いました。

全校児童32名が作り出した『河合っ子エール』は、鯉のぼりの泳ぐ青空に吸い込まれていきました。きっと、見てくださった方々を笑顔にすることができたのではないかと思います。



7月の行事予定

日	曜	校内行事	バス
1	金	1年生給食試食会 (PTA母親委員会)	15:45
2	土		
3	日		
4	月		15:05
5	火		15:45
6	水		15:05
7	木	古川西小学校と交流(5・6年)	15:45
8	金		15:45
9	土		
10	日		
11	月		15:05
12	火	全校研究会	14:40
13	水	クラブ② SC来校	15:05
14	木	ジュニアラゲッジゲーム (4~6年) ※宮川小と合同	15:45
15	金	歌舞伎村ソナーソウ(5・6年)	15:45
16	土		
17	日		
18	月	海の日	
19	火		15:45
20	水	夏休み前集会 ※給食あり	13:05
21	木	夏休み開始(8/25まで) 個人懇談	
22	金	個人懇談	
23	土		
24	日		
25	月	個人懇談	



運動会でのニューメッツの演奏

※「SC来校」は、スクールカウンセラー(臨床心理士)の来校日を示しています。子育てについて相談したいことがある方は、お気軽に学校までご連絡ください。(担当:養護教諭 藤本)

8月の行事予定

19	金	全校登校日	
26	金	夏休み明け集会(13:05 下校) ※給食あり	
31	水	SC来校	

教科書展示会のご案内

飛騨市の小中学生が今年度使用している教科書が下記のように展示されています。貴重な機会ですので、是非ご覧ください。

展示期間 6月10日~6月23日

展示場所 飛騨市図書館内

飛騨市神岡図書館内

今年もたくさんの鯉のぼりが 河合小学校の空を元気に泳ぎました!

河合っ子応援部会をはじめたくさんの方々の協力のおかげで、鯉のぼりを掲揚することができました。お忙しい中をご協力くださり、誠にありがとうございました。

また、同報無線で寄付のお願いをしたところ、たくさんの鯉のぼりが届きました。思い出が詰まった貴重な鯉のぼりをご寄付くださり、誠にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

【寄付して下さった方】

稲垣勝美様 高木啓子様
堂前保幸様 中谷佳子様
端場義晴様 盤所啓市様
松井介美様 山崎清雄様
(50音順に掲載)



地域の方に盆踊りを教えていただきました

今年も地域の方々に「えいやら・加賀崎」をご指導いただきました。一つ一つの動きを丁寧に教えてくださったおかげで、初めて体験する1年生も楽しく踊ることができました。玉腰様、谷口様、松井様、ご指導ありがとうございました。



たくさんの方が運動場の草取りを してくださりました

地域学校協働本部の呼びかけにたくさんの方が、駆け付けてくださいました。児童も登校と同時に作業に参加し、自分たちの学校生活がたくさんの方に支えられていることを改めて実感することができました。ご協力ありがとうございました。



少年の主張大会で堂々と意見発表

6月11日(土)に飛騨市少年の主張大会が開催され、渡邊陽文さんが河合小学校を代表して出場しました。

スポーツ少年団(バドミントン)での仲間関係を通して学んだことを、「自分なりのコミュニケーション」という題で、堂々と発表しました。

次頁に全文を掲載しますので、是非お読みください。

「自分なりのコミュニケーション」

岐阜県飛騨市立河合小学校

6年 渡邊 陽文

皆さんは、普段あまり関わりのない人と、どんな方法で仲良くなっていますか。私はこれまで、そのコツはコミュニケーションだと思っていました。コミュニケーションとは、言葉などを通して相手と通じ合うことです。でも私は最近、相手と仲良くなるコツは、相手を思い遣うことだと考えるようになりました。

私は、週に一回のバドミントンに通っています。バドミントンには違う学校の子たちがたくさん来ます。その子たちと仲が良くなるために自分から話しかければ良いのですが、私にとって、それはそんなに簡単ではありません。なぜなら、私はあまり仲が良くない人に自分から話しかけることが苦手だからです。何度かやってみようと思いましたが、何を話したら良いのかわからなくなってしまったり、怖がられてしまうんじゃないかと思ったりして、声をかけることができませんでした。それに、なかなか声をかける勇気がないということもあります。

私は、時々バドミントンに通っている子に話しかけられることがあります。話しかけられて嬉しいのですが、緊張したりびっくりしたりして、返事がうまくできません。うなずくことや小さい声で話すことしかできず、相手の人から嫌われてしまうのではないかと不安になります。

でも、たまに勇気を出して私から話しかけることもあります。しかし、バドミントンは週に一回しかないので、私が話しかけたことも一週間後には忘れられてしまうのではないかと心配になります。また話しかけようと思ってもグループができていたので、なかなか話しかけることができません。私にもっと勇気があったら、コミュニケーション能力があったらと何度も思います。そしたらもっと仲の良い子ができるのになあと思います。

そんなことを思っていた私にも変化が現れ出しました。とんできたシャトルを相手に返してあげたりこぼれたお茶を一緒に拭いてあげたりしていたら、自然と少しだけ話すことができるようになってきたのです。

ある日、バドミントンが終わって迎えがくるのを待っていると、違う学校に通っている女の子が私に声をかけてくれました。私は声をかけられて驚き、ぎこちない返事しかできませんでしたが、私が帰る時にも、その女の子は、「バイバイ」と言ってくれました。なぜ話しかけてくれたのかはわかりません。でも私の心の中は、あたたかい気持ちで一杯になりました。その日のことがきっかけとなり、いろいろな人と少しずついつも以上に話すことができるようになってきました。

次の日、私が話しかけられたことを日記に書くと担任の先生は、

「陽文さんに、シャトルをとってもらったり、声をかけてもらったりして、うれしいと思う子がいるってことだね。」

とコメントしてくださいました。その言葉で少し気が楽になりました。それと同時に少しずつで良いから違う学校の子に声をかけてみようと思うようになりました。こんな気持ちになったのは、相手を思うことの大切さに気付いたからだと思います。

そして、今、私は新しい挑戦をしようと思っています。それは、まだやるかどうか確定ではないですが、飛騨市のスポーツ少年団だけで活動する一泊二日のイベントです。

コミュニケーションをとり人と関わりあうことは、必ず必要なものだと思います。とまどうこともありますが、焦らず相手を思って行動することで打ち解けられると思います。これからも相手を気遣いながら少しずつ自分から話していこうと思います。

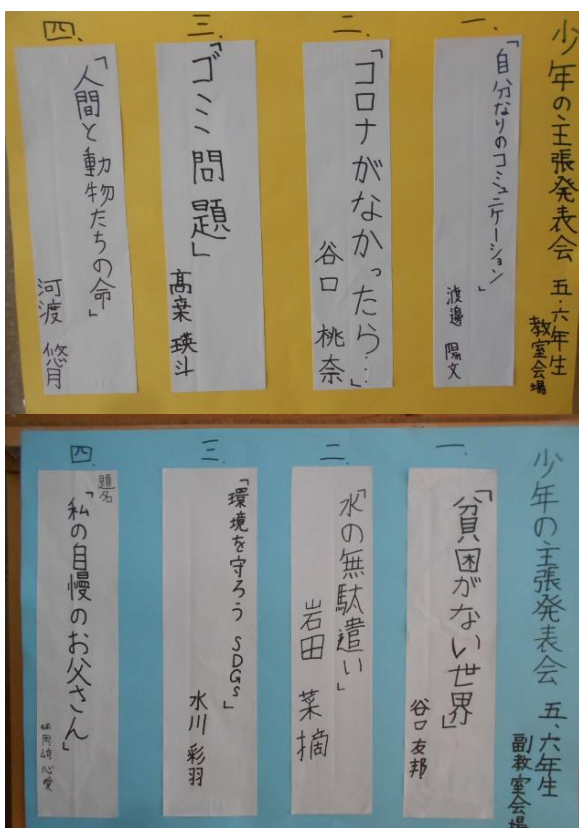


本番は本人が自分からアイデアを出し、バドミントンのユニホームを着て発表しました。大変落ち着いた話しぶりで、古川町公民館に集まった多くの観客が、傾きながら聴き入っていました。



6年生は全員が作文を書き、国語の時間に発表会を行いました。どの子も文章を書くことを通して、自分が選んだテーマについての考えを深めることができました。これらも各自のテーマについて自分から追究することが期待できそうです。

←左が一人一人の作文の題名です。



事前に校内で発表会を行い、みんなで感想を言い合いました。多くの児童が自分から手を挙げ、自分の生活と比べて感想を述べたり、話し方のよいところを伝えたりすることができました。